

災害メモリアルアクションKOBE 2016 「阪神淡路大震災の教訓って？」



神戸学院大学現代社会学部社会防災学科安富ゼミ

3年 喜田悠太郎、沖代大知、田中瞳、木ノ下敦也

2年 和田貴士、菅原由衣、綾部勇太、富岡美祈、塚本真央子、大家元希、井上太賀、南木颯人、向田健司、仲上芽花、山村勇貴

港島学園

11月17日午後1時から45分間、神戸市中央区ポートアイランド内にある、市立港島学園で8年生（中学2年）10人に、学生14人でインタビュー調査しました。質問内容は、家具の固定をしているか、家族の人から阪神淡路大震災当時の話を聞いたことがあるか、など短い時間ながら、非常に興味深い話を聞くことができました。また、中学生と大学生が話す機会はなかなかないので、貴重な経験になりました。



水道筋商店街

私たち灘班(喜田、和田、富岡、塚本、大家、井上、仲上、山村)は、12月2日午前11時から神戸市灘区の水道筋商店街で、インタビューを行いました。商店街に買い物に来ていた人たちに、阪神淡路大震災当時の話や今に伝えたい教訓のお話を聞きました。避難所で苦労した話など11人の方に聞くことが出来ました。

JR新長田駅周辺

私たち長田班(沖代、木ノ下、綾部、菅原、向田、南木)は、12月2日午前中に神戸市長田区のJR新長田駅周辺で、阪神淡路大震災当時の様子についてインタビューしました。約10人の方にインタビューを行い、震災時の様子、次世代に伝えたいことを聞きました。中には震災時のことを思い出したくない人や、語りたくない人もたくさん、おられました。今でもそのような思いが残るような悲惨な状況だったことがわかりました。



ラジオ関西「時間です！林編集長」に出演

11月17日と12月8日の2回、ラジオ関西の「時間です！林編集長」の午後3時15分から「これどうですか！編集長」のコーナーに、喜田、田中、沖代の3年生3人が出演。「災害メモリアルアクションKOBE 2016」への取り組みについて話しました。「震災を経験していない私たちが、次の世代の中学生たちに、どう教訓を伝えるのか？ 教訓って何？」と思いながら、中学生へのインタビューや震災体験者にお話を聞きました。教訓を伝えていくのってとても難しい」などと話し、ラジオのリスナーにも、伝え残したいことなどを聞き、多くの返信をいただきました。